

## 教育委員会定例会日程

平成23年11月17日

1 開 会

2 前回の会議録の承認

3 会議録署名委員の決定

4 議事

日程第1

報告第7号

事務の臨時代理の報告（12月補正予算）について

（保健給食課、生涯学習課、文化財課）

5 報告事項

（1）学校の雨どいや側溝付近等の空間放射線量の調査及び対応について

（資料1 保健給食課）

（2）平成24年度公立幼稚園新入園児応募状況について （資料2 教育指導課）

（3）市内の小中学校の児童・生徒の通知表記載誤り等について

（資料3 教育指導課）

6 閉 会

報告第7号

事務の臨時代理の報告（12月補正予算）について

小田原市教育委員会教育長に対する事務委任等に関する規則（平成10年3月教育委員会規則第4号）第4条第1項の規定により、別紙のとおり臨時代理したので、同条第2項の規定により、これを報告する。

平成23年11月17日提出

小田原市教育委員会  
教育長 前田 輝男

平成23年度12月補正予算要求概要

(歳入) (単位: 千円)

科目	要求額	主な内容	
(項) 国庫補助金 (目) 教育費補助金	8,795	埋蔵文化財緊急発掘調査費補助金 史跡等購入費補助金	8,955 △160
(項) 諸収入 (目) 総務費雑入	630	建物総合損害共済災害共済金	630
合計	9,425		

(歳出) (単位: 千円)

科目	要求額	主な内容	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
(項) 社会教育費 (目) 文化財保護費 文化財保存活用経費	17,910	緊急発掘調査事業 ・調査補助委託料等	8,955			8,955
(項) 社会教育費 (目) 文化財保護費 史跡整備経費	1,060	本丸・二の丸整備事業 ・銅門土塀修復工事請負費  史跡等用地取得事業 ・用地購入費 A=1,422.01 m <sup>2</sup> ・物件補償費等	△160		630	590
(項) 社会教育費 (目) 生涯学習センター費 地区公民館育成経費	327	地区公民館育成支援事業 ・地区公民館修繕費補助金				327
合計	19,297		8,795		630	9,872

(債務負担行為補正)

(単位: 千円)

事項	期間	限度額
学校給食調理委託料 (新玉・山王・下府中・千代・富士見小学校)	平成23年度	0
	平成24年度	95,353
	平成25年度	95,353
	平成26年度	95,353
	計	286,059

# 学校給食調理業務の民間委託について

## 1 経緯

平成8年に市の「行政改革大綱」の見直しを行い、その中で「退職職員の不補充」と「民間活力の導入」の基本方針を打ち出した。

この方針に沿って、学校給食における調理業務の民間委託の検討を開始し、平成13年に政策決定を行い、平成14年度から導入した。

## 2 実施状況

民間委託の実施状況については下記のとおり。

平成24年度は、平成16年度から業務委託を実施した千代小学校・富士見小学校及び平成21年度から実施した新玉小学校・山王小学校、下府中小学校について更新を行う。今後も調理員の定年退職者等の状況を勘案し、順次委託化を進める。

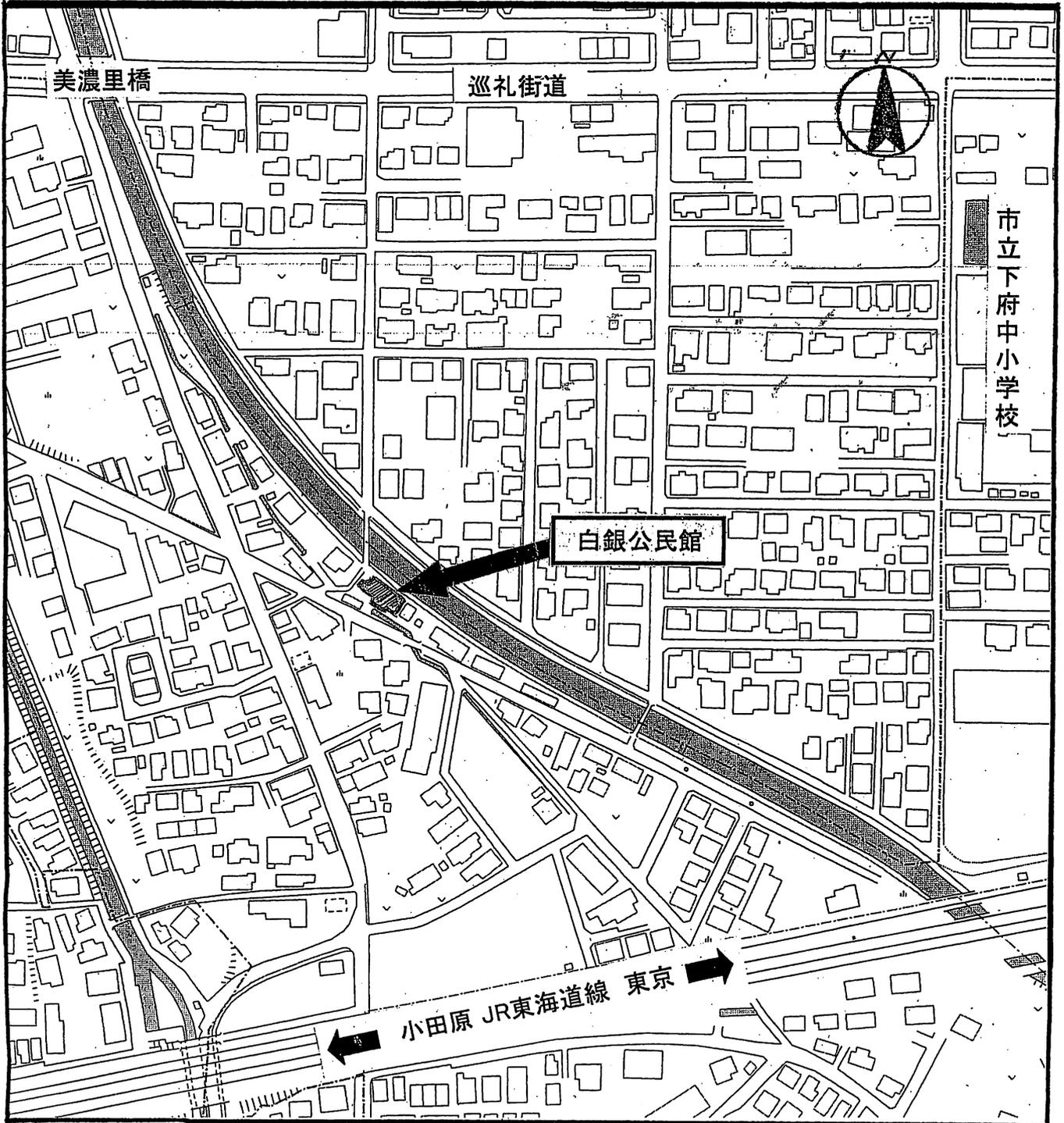
〔民間委託実施状況〕

	委託調理場・小学校	備 考
平成14年度	橘共同調理場	前羽小学校・下中小学校 橘中学校 前羽幼稚園・下中幼稚園
平成15年度	国府津共同調理場	国府津小学校・下曾我小学校 国府津中学校
	豊川共同調理場	片浦小学校・豊川小学校 城南中学校
平成16年度	千代小学校・富士見小学校	
平成17年度	大窪小学校	
平成18年度	実施なし	
平成19年度	富水小学校・東富水小学校	
平成20年度	芦子小学校・桜井小学校	
平成21年度	新玉小学校・山王小学校 下府中小学校	
平成22年度	久野小学校・矢作小学校	
平成23年度	実施なし	
平成24年度	実施なし	
未実施 共同調理場 (1場) 小学校 (7校)	学校給食センター (対象校：城山中学校・白鷗中学校・白山中学校・鴨宮中学校・千代中学校・酒匂中学校・泉中学校・城北中学校) 単独調理校 (三の丸小学校・足柄小学校・早川小学校・町田小学校 酒匂小学校・曾我小学校・報徳小学校)	

## 地区公民館修繕費補助金について

名 称	白銀公民館
自治会名	大道自治会
代表者名	大道自治会長 古川 毅
対象世帯数	495世帯（平成23年9月1日現在）
所 在	小田原市酒匂1396番地の6
構造・面積	木造2階建 84.47㎡
建設年月日	昭和44（1969）年5月15日
修繕工事費	1,149,750円
補助金額	327,000円
支出根拠	小田原市文化部生涯学習課所管に係る補助金交付要綱（対象工事費の30/100、ただし予算の範囲以内） （修繕費は100万円以上のものに限る。ただし、300万円を超える場合は、300万円とする。）
<p>（備考）</p> <p>平成23年9月21日に上陸した、台風第15号による暴風雨で、屋根の一部が損壊し大量の雨水が浸入したため、屋根、天井、壁面及び床の修繕が必要となっていることから、緊急を要するため12月定例会に補正予算案を上程するものであります。</p>	

# 白銀公民館位置図



縮尺 1 / 2,324 | 69.72m

## 学校の雨どいや側溝付近等の空間放射線量の調査及び対応について

## 1 経緯

過日、腐葉土検査の結果で暫定許容量を超える数値が検出された小田原市立片浦小学校、久野小学校の雨どいや側溝付近等について検査したところ、国の基準は全て下回ったが、片浦小学校において市の除染基準値を超える値が出た。

## 2 検査結果

1) 検査日 平成23年10月26日(水)

片浦小学校(校庭の空間放射線量 9月22日 高さ1m 0.08 $\mu$ Sv/h)

	場所	地面	測定値( $\mu$ Sv/h)	
			50cm	1m
1	変電設備(東側)雨どいの下	土・葉	0.27	0.13
2	体育倉庫(南側)雨どいの下	砂・石	0.22	0.11
3	校舎裏(中央)	土・葉	0.29	0.17
4	体育倉庫(北側)雨どいの下	砂・石	0.13	0.09
5	校舎正面玄関(西側)雨どいの下	土	0.13	0.07

久野小学校(校庭の空間放射線量 9月6日 高さ1m 0.04 $\mu$ Sv/h)

	場所	地面	測定値( $\mu$ Sv/h)	
			50cm	1m
1	プール専用付属室(西側)雨どいの出口	草	0.08	0.06
2	屋内運動場入口(東側)雨どいの出口	土	0.12	0.06
3	屋内運動場入口(西側)雨どいの出口	土・石	0.13	0.08

## 3 検査結果に対する対策について

- ・子どもの安心・安全を考え、市の除染基準値を超えた片浦小学校3ヶ所については、10月27日、放射線量の高い箇所の土を掘り、ビニール袋に入れ、土中に埋める措置を講じた。

## &lt;除染後の空間放射線量の結果&gt;

	実施前	5cm掘った地面	10cm掘った地面
変電設備(東側)雨どいの下	0.27	0.16	0.14
体育倉庫横(南側)雨どいの下	0.22	0.17	0.12
校舎裏(面積1m50cm×70cm)	0.29	0.27	0.30

※校舎裏については、除染後も基準を上回っていることから、児童の立ち入らない場所であるが、立ち入り禁止とし、原因については今後調査の上、対処する。

- ・なお、他の学校・園についても、今後順次調査を行っていく。

## ■ 国の対応方針

地表から1mの高さの空間線量率が周辺より1 $\mu$ Sv/h高い場合、除染を行う。

根拠：平成23年10月21日付の内閣府・文部科学省・環境省からの「福島県以外の地域における周辺より放射線量の高い箇所への対応方針」の通知

## ■ 小田原市の除染の基準

公的空間	基準の高さ	除染基準値( $\mu$ Sv/h)
子どもがその場に短時間しかいない場所(局所値)雨どいなど	50cm	0.19

(0.19 $\mu$ Sv/h×8時間(屋外)+0.19×0.4×16時間(屋内))×365日=年間1ミリシーベルト

## 市立保育所及び幼稚園の空間放射線量率の調査結果について

市立保育所（８施設）及び幼稚園（６施設）における空間放射線量率については、以下の日程で、各施設の敷地全体を測定いたしました。いずれの園も除染基準値を超える値は検出されませんでした。

日 時	実 施 場 所
10月28日（金）	江之浦保育園・早川保育園
11月4日（金）	下曾我保育園・曾我保育園・上府中保育園・豊川保育園・桜井保育園・城山乳児園
11月9日（水）	酒匂幼稚園・東富水幼稚園・前羽幼稚園・下中幼稚園・矢作幼稚園・報徳幼稚園

### 【検査方法及び除染基準値】

γ線用シンチレーションサーベイメータを使用し、地表5cmの高さで保育所敷地内の放射線量率を測定し、比較的数値の高い場所については地表50cm・1mの高さを測定。なお、除染基準値については、小田原市の除染基準値で判断する。

### ■国の対応方針

- ・その場所で何時間も過ごす場所の値（代表的な線量）については、地表から1mの高さの空間放射線量率が $0.23\mu\text{Sv/h}$ を超えた場合、除染を行う。
- ・短時間しかいない場所の値（局所的な線量）については、地表から1mの高さの空間放射線量率が周辺より $1\mu\text{Sv/h}$ 高い場合、除染を行う。

### ■小田原市の除染の基準

公的スペース	基準の高さ	除染基準値（ $\mu\text{Sv/h}$ ）
子どもが座り、ある程度の時間いる場所 （代表値） 園庭・砂場など	5 cm	0.19
子どもがその場に短時間しかいない場所 （局所値） 雨どい下など	50 cm	0.19

$(0.19\mu\text{Sv/h} \times 8\text{時間（屋外）} + 0.19 \times 0.4 \times 16\text{時間（屋内）}) \times 365\text{日} = \text{年間} 1\text{ミリシーベルト}$

記者各位

空間放射線量が市の除染基準値を上回った片浦小学校校舎裏の原因と除染作業の結果について

1 原因

当該箇所は4階建ての校舎の裏側で、雨水管の一部が破損していたことにより、屋上からの雨水がコンクリートを伝わって流れ出て染み込んだことにより、その地点の数値が高く検出されたものと考えられる。

2 除染方法

放射線量の高い箇所を50cmほど掘り下げ、汚染された土壌は取り除き、別の土で埋め戻すという作業を行った。

さらに、周辺のコンクリートに付着している放射能をとり除くため、高圧洗浄による除染を行った結果、市の除染基準値を下回った。

< 除染後の空間放射線量の結果 >

場 所	掘削面より 50 c m の高さ (μ Sv/h)
校舎裏 掘削前 (10月27日)	0.30
校舎裏 掘削後 (11月16日)	0.17
校舎裏 覆土後 (11月16日)	0.12
高圧洗浄機使用後の汚水枡のコンクリート上 (11月17日)	0.12

\*小田原市の除染の基準

公的空間	基準の高さ	除染基準値 (μ Sv/h)
子どもが座り、ある程度の時間いる場所 (代表値) 校庭・園庭・砂場など	5cm	0.19
子どもがその場に短時間しかいない場所 (局所値) 雨どいや側溝など	50cm	0.19

(0.19 μ Sv/h × 8 時間 (屋外) + 0.19 × 0.4 × 16 時間 (屋内)) × 365 日 = 年間 1 ミリシーベルト



## 平成24年度公立幼稚園新入園児応募状況

平成23年11月4日現在

幼稚園名	総定員 A	4歳児定員	区域内幼児 B	願書配布数	入園申込者 C	入園率(%) C/B	5歳児見込 D	H24園児見込 総数 C+D=E	総定員に対する割合(%)E/A	通園区域(小学校区)
酒匂幼稚園	210	105	155	50	47	30.3	58	105	50.0	酒匂、富士見
東富水幼稚園	140	70	215	58	55	25.6	64	119	85.0	富水、東富水
前羽幼稚園	70	35	24	11	11	45.8	6	17	24.3	前羽
下中幼稚園	140	70	61	25	25	41.0	26	51	36.4	下中
矢作幼稚園	140	70	266	70	63	23.7	50	113	80.7	矢作、豊川、下府中
報徳幼稚園	70	35	159	27	24	15.1	35	59	84.3	桜井、報徳
計	770	385	880	241	225	25.6	239	464	60.3	

## (参考)過去3年間の応募状況

幼稚園名	平成21年度				平成22年度				平成23年度			
	区域内幼児 A	願書配布数	入園数 B	入園率(%) B/A	区域内幼児 A	願書配布数	入園数 B	入園率(%) B/A	区域内幼児 A	願書配布数	入園数 B	入園率(%) B/A
酒匂幼稚園	190	66	61	32.1	186	60	57	30.6	158	61	55	34.8
東富水幼稚園	206	62	62	30.1	206	44	42	20.4	233	64	61	26.2
前羽幼稚園	26	9	9	34.6	20	11	10	50.0	17	6	5	29.4
下中幼稚園	60	31	29	48.3	56	22	21	37.5	50	22	21	42.0
矢作幼稚園	254	57	50	19.7	256	72	70	27.3	247	60	51	20.6
報徳幼稚園	137	44	35	25.5	143	40	35	24.5	141	38	35	24.8
計	873	269	246	28.2	867	249	235	27.1	846	251	228	27.0

## 市内の小中学校の児童・生徒の通知表記載誤り等について

### 1 今回の通知表記載誤りに関わる経過

去る10月13日（木）に、読売新聞の記者から市教育委員会に対して、通知表に記載誤りがあるかどうかの取材があり、教育委員会では、昨年度及び今年度前期において、事例があった旨を回答した。

翌14日（金）、読売新聞に記事として掲載されたため、記者クラブから情報提供をしてほしいとの申し入れがあり、同日中に昨年度の2校（早川小学校・富士見小学校）と、既に事故報告が上がっていた今年度前期分の城北中学校の計3校について、情報提供した。

学校に対しては、同日、教職員担当課長名で、通知表のチェック体制強化についてと、万が一、通知表誤記入等が発覚した場合は、早急に市教育委員会へ報告するよう、至急文書で通知した。

10月18日（火）までに全ての小中学校を確認したところ、新たに7校から報告があり、先に発表した3校を含め、合計10校、延べ179人の児童・生徒の通知表記載誤りが判明した。そこで、一連の公表を10月20日（木）に行った。

10月24日（月）の教育委員会と校長会との連絡調整会議後、全校で、通知表の総点検を行い、11月8日（火）までに、新たに20校、特別支援学級を含む、延べ320人の児童・生徒の通知表記載誤りが教育委員会に報告された。これにより、これまでの公表分を含め、合計23校、延べ499人の児童・生徒の通知表記載誤りが判明し、点検結果の公表を11月9日（水）に行った。

### 2 通知表作成の流れ

#### (1) 通知表に記載されている項目

- ・児童・生徒氏名      ・校長氏名・担任氏名      ・各教科の観点別学習評価と評定
- ・特別活動の記録（学級での係、児童会・生徒会活動、部活動など）
- ・総合的な学習の時間の記録
- ・出欠席の記録（忌引、出席停止、欠席・遅刻・早退）      ・学級担任の所見

#### (2) 通知表の作成手順と点検

##### 【小学校】

- ① 担任・教科担当は、日常の授業やテスト・作品などをもとに児童一人ひと

りの評価資料を作成し、評価・評定を決定する。

- ② 児童一人ひとりの評価資料を基に、それぞれの児童の評価・評定を学年内で確認しあう。
- ③ 担任は、評価・評定や特別活動の記録、出欠席の記録などを通知表作成ソフトに入力する。これをプリントアウトしたものが原簿となる。
- ④ 原簿をもとに、適正に評価・評定されているかを、管理職が確認する。
- ⑤ 担任は、原簿を基に所見を作成する。
- ⑥ 担任は、所見のデータを通知表作成ソフトに入力・プリントアウトし、通知表の台紙に貼り付ける個人票を作成する。
- ⑦ 作成された個人票と原簿を、学年内で照合する。
- ⑧ 作成された個人票と原簿を、管理職が照合する。
- ⑨ 担任は、修正が必要な場合は修正した上で個人票をプリントアウトし、再度確認の上、個人票を通知表の台紙に貼り付ける。
- ⑩ 管理職・担任が、最終確認し、通知表が完成される。

#### 【中学校】

- ① 担任・教科担当は、日常の授業やテスト・作品などを評価し、生徒一人ひとりの評価資料を作成する。
- ② 教科担当は、生徒一人ひとりの評価資料の数値を成績処理ソフトに入力し、自動計算によって評価・評定を決定する。また、担任は、所見や特別活動の記録、出欠席の記録などを別のソフトに入力する。この2つのデータをプリントアウトしたものが原簿となる。
- ③ 生徒一人ひとりの評価資料とプリントアウトされた原簿を、担任と学年主任が照合する。
- ④ 学年内の成績担当は、プリントアウトした原簿のデータを通知表作成ソフトに反映させ、プリントアウトし、通知表の台紙に貼り付ける個人票を作成する。
- ⑤ 作成された個人票と原簿を、管理職・学年主任が照合する。
- ⑥ 学年内の成績担当は、修正が必要な場合は修正した上で個人票をプリントアウトし、担任は、再度確認の上、個人票を通知表の台紙に貼り付ける。
- ⑦ 管理職・担任は、最終確認し、通知表が完成される。

### 3 原因

- (1) パソコンの入力ミスや操作ミス等、教職員一人ひとりの不注意によるもの。
- (2) チェック体制が機能しなかったこと、教職員の危機管理意識の欠如によるもの。
- (3) パソコンソフトの機能が不十分であることによるもの。

### 4 その後の対応

- (1) 小中学校全校において、管理職と担任が、保護者から戻り学校で保管している前期の通知表の総点検を行い、11月8日（火）までに教育委員会に報告があった。
- (2) 通知表作成時の意識向上に向けて、教育委員会の指導主事が、10月26日から11月2日の間に全校を訪問し、教育長の通知文（注意喚起文書）を全教職員に配付するとともに、直接指導に当たった。
- (3) 専門家を招いた通知表事故調査委員会を立ち上げ（11月21日）、通知表作成時のチェック体制の再検討やチェックシートの作成などを行い、その検討結果を各校に提示していく。
- (4) 通知表作成ソフトについては、現在使用しているパソコンソフトの検証を行うとともに、併せて、自動チェック機能のある市販パソコンソフトの導入について検討を行う。

## 5 事故の概要

### (1) 既公表分

#### ① 平成22年度

学校名 (該当児童生徒数 計)	当事者の年代	事故の状況 (該当児童生徒数)	原因
早川小 (28名)	①4年 30代・男	①2教科評定の記載誤り(25名) (延べ28名) …保護者の訴えにより発覚	①通知表作成ソフトへの入力時の操作ミスと確認ミス
富士見小 (40名)	①5年 40代・男	①家庭科評定欄と外国語活動評価欄が未記入(40名) …児童の訴えにより発覚	①通知表作成ソフトからの印刷ミスと確認ミス
国府津中 (36名)	①2年 40代・女	①所見欄の記載誤り(36名)	①通知表作成ソフトへの入力ミスと確認ミス

#### ② 平成23年度

学校名 (該当児童生徒数 計)	当事者の年代	事故の状況 (該当児童生徒数)	原因
芦子小 (1名)	①6年 20代・男	①家庭科評定欄と外国語活動評価欄が未記入(1名) …児童の訴えにより発覚	①通知表作成ソフトからの印刷ミスと確認ミス
酒匂小 (2名)	①2年 50代・女 ②3年 30代・男	①氏名欄の表記誤り(1名) ②生活の様子欄の記載誤り(1名)	①通知表作成ソフトへの入力ミスと確認ミス ②通知表作成ソフトへの入力時の転記ミスと確認ミス
報徳小 (8名)	①1年 50代・女	①欠席日数の記載誤り(8名) …保護者の訴えにより発覚	①通知表作成ソフトへの入力時の転記ミスと確認ミス
豊川小 (26名)	①1年 30代・男	①出席日数の記載誤り(26名) …保護者の訴えにより発覚	①通知表作成ソフトへの入力時の転記ミスと確認ミス
白山中 (16名)	①1年 50代・男 ②1年 20代・女 ③1年 50代・男 ④1年 20代・男 ⑤2年 50代・男 ⑥2年 30代・男 ⑦3年 60代・男	①特別活動欄の記載誤り(1名) …生徒の訴えにより発覚 ②特別活動欄の記載誤り(1名) …生徒の訴えにより発覚 ③欠席日数の記載誤り(1名) …保護者の訴えにより発覚 ④忌引き日数の記載誤り(1名) …生徒の訴えにより発覚 ⑤-1 遅刻日数の記載誤り(1名) …生徒の訴えにより発覚 ⑤-2 特別活動欄の記載誤り(1名) …生徒の訴えにより発覚 ⑥欠席日数の記載誤り(1名) …生徒の訴えにより発覚 ⑦評定の記載誤り(9名) …生徒の訴えにより発覚	①～⑦ 通知表作成ソフトへの入力時の転記ミスと確認ミス
千代中 (3名)	①1年 50代・男	①評定の記載誤り(3名) …生徒の訴えにより発覚	①評価評定ソフトへの入力ミスと確認ミス
国府津中 (2名)	①2年 20代・男	①欠席日数の記載誤り(2名) …生徒の訴えにより発覚	①通知表作成ソフトへの入力時の転記ミスと確認ミス

学校名 (該当児童生徒数 計)	当事者の年代	事故の状況 (該当児童生徒数)	原因
城北中 (17名)	①1年 50代・男 ②2年 30代・男	①特別活動欄の記載誤り(2名) ②「総合的な学習の時間」記録欄の記載誤り(15名) …生徒の訴えにより発覚	①～② 通知表作成ソフトへの入力時の転記ミスと確認ミス

## (2) 総点検分

### ① 平成23年度

学校名 (該当児童生徒数 計)	当事者の年代	事故の状況 (該当児童生徒数)	原因
新玉小 (6名)	①1年 50代・女 ②2年 40代・女 ③3年 20代・男 ④4年 30代・女 ⑤5年 30代・男	①欠席日数の記載誤り(1名) ②欠席日数の記載誤り(2名) ③欠席日数の記載誤り(1名) ④欠席日数の記載誤り(1名) ⑤欠席日数の記載誤り(1名)	健康観察板から出席簿への転記ミス ②～⑤ 通知表作成ソフトへの入力時の転記ミスと確認ミス
足柄小 (5名)	①1年 20代・女 ②1年 40代・女 ③2年 30代・女	①「欠席日数」を「出停・忌引」の欄に入力(3名) ②「欠席日数」を「出停・忌引」の欄に入力(1名) ③欠席日数の記載誤り(1名)	①～② 通知表作成ソフトへの入力時の転記ミスと確認ミス ③最終確認のミス
芦子小 (9名)	①1年 20代・女 ②1年 20代・男 ③1年 40代・女 ④3年 30代・男 ⑤6年 50代・女 ⑥3年 20代・女 ⑦2年 50代・女	①欠席日数の記載誤り(2名) ②忌引日数の記載誤り(1名) ③出席日数の記載誤り(1名) ④「欠席日数」を「出停・忌引」の欄に入力(1名) ⑤欠席日数の記載誤り(2名) ⑥係名の記載誤り(1名) ⑦児童名の表記誤り(1名)	①～②・④～⑥ 通知表作成ソフトへの入力時の転記ミスと確認ミス 手書きによる転記ミス ⑦通知表作成ソフトへの入力ミスと確認ミス
大窪小 (18名)	①1年 50代・女 ②2年 40代・女 ③2年 40代・女 ④3年 30代・男 ⑤4年 40代・男 ⑥4年 20代・女 ⑦5年 20代・女 ⑧6年 40代・女	①欠席日数の記載誤り(2名) ②欠席日数の記載誤り(1名) ③欠席日数の記載誤り(6名) ④欠席日数の記載誤り(2名) ⑤欠席日数の記載誤り(2名) ⑥欠席日数の記載誤り(1名) ⑦欠席日数の記載誤り(2名) ⑧欠席日数の記載誤り(2名)	①～⑧ 通知表作成ソフトへの入力時の転記ミスと確認ミス
早川小 (8名)	①1年 50代・男 ②4年 30代・男 ③5年 50代・女 ④6年 40代・男	①-1 係名の未記入(1名) ①-2 欠席日数の記載誤り(1名) ②欠席日数の記載誤り(2名) …児童の訴えにより発覚 ③欠席日数の記載誤り(1名) ④欠席日数の記載誤り(3名)	①～④ 通知表作成ソフトへの入力時の転記ミスと確認ミス
富水小 (1名)	①2年 50代・女	①欠席日数の記載誤り(1名) …保護者の訴えにより発覚	①通知表作成ソフトへの入力時の転記ミスと確認ミス
下府中小 (41名)	①1年 40代・女 ②2年 20代・女 ③3年 20代・男 ④3年 40代・女 ⑤4年 20代・女 ⑥4年 50代・女 ⑦4年 40代・女 ⑧5年 40代・男 ⑨6年 30代・男 ⑩6年 30代・男	①欠席日数の記載誤り(4名) ②欠席日数の記載誤り(20名) …保護者の訴えにより発覚 ③欠席日数の記載誤り(3名) ④欠席日数の記載誤り(2名) ⑤欠席日数の記載誤り(2名) ⑥欠席日数の記載誤り(1名) ⑦欠席日数の記載誤り(1名) ⑧欠席日数の記載誤り(5名) ⑨欠席日数の記載誤り(2名) ⑩欠席日数の記載誤り(1名)	①・④・⑤ 通知表作成ソフトへの入力時の転記ミスと確認ミス ③・⑥・⑦・⑩ 健康観察板から出席簿への転記ミス ②・⑧・⑨ 通知表作成ソフトへの入力時の転記ミスと確認ミスもしくは健康観察板から出席簿への転記ミス

学校名 (該当児童生徒数 計)	当事者の年代	事故の状況 (該当児童生徒数)	原因
桜井小 (2名)	①1年 50代・女 ②2年 40代・女	①欠席日数の記載誤り(1名) …保護者の訴えにより発覚 ②欠席日数の記載誤り(1名) …保護者の訴えにより発覚	①～② 通知表作成ソフトへの入力時の 転記ミスと確認ミス
下曾我小 (4名)	①1年 30代・女 ②2年 50代・女 ③6年 30代・女	①欠席日数の記載誤り(1名) ②-1 欠席日数の記載誤り(1名) ②-2 他の児童の個人票を貼付(1 名) ③欠席日数の記載誤り(1名)	①・③ 通知表作成ソフトへの入力時の 転記ミスと確認ミス ②健康観察板から出席簿への 転記ミス及び貼付ミスと最終 確認のミス
国府津小 (15名)	①1年 40代・女 ②2年 30代・女 ③2年 30代・女 ④3年 20代・男 ⑤3年 30代・女 ⑥4年 30代・女 ⑦5年 20代・女 ⑧6年 30代・男	①欠席日数の記載誤り(4名) ②欠席日数の記載誤り(2名) ③欠席日数の記載誤り(1名) …保護者の訴えにより発覚 ④欠席日数の記載誤り(2名) ⑤欠席日数の記載誤り(1名) ⑥欠席日数の記載誤り(3名) ⑦児童名の表記誤り(1名) …保護者の訴えにより発覚 ⑧欠席日数の記載誤り(1名)	①～⑥・⑧ 通知表作成ソフトへの入力時の 転記ミスと確認ミス ⑦通知表作成ソフトへの入力 ミスと確認ミス
酒匂小 (42名)	①1年 20代・女 ②1年 20代・女 ③2年 30代・女 ④3年 30代・男 ⑤4年 30代・男 ⑥6年 40代・女 ⑦6年 30代・男	①欠席日数の記載誤り(1名) ②欠席日数の記載誤り(1名) ③児童名の表記誤り(1名) ④-1 欠席日数の記載誤り(2名) ④-2 係名の記載誤り(1名) ⑤欠席日数の記載誤り(6名) ⑥欠席日数の記載誤り(28名) ⑦欠席日数の記載誤り(2名)	①・⑦ 健康観察板から出席簿への転 記ミス ②・④～⑥ 通知表作成ソフトへの入力時の 転記ミスと確認ミス ③通知表作成ソフトへの入力 ミスと確認ミス
曾我小 (3名)	①2年 30代・男 ②3年 20代・男 ③6年 40代・女	①欠席日数の記載誤り(1名) ②欠席日数の記載誤り(1名) ③クラブ名の記載誤り(1名) …児童の訴えにより発覚	①～③ 通知表作成ソフトへの入力時の 転記ミスと確認ミス
矢作小 (27名)	①1年 50代・女 ②2年 50代・男 ③3年 40代・女 ④4年 40代・男 ⑤4年 30代・男 ⑥5年 20代・女 ⑦6年 40代・女 ⑧6年 20代・男 ⑨6年 30代・男	①特別活動欄の未記入(1名) ②欠席日数の記載誤り(3名) ③欠席日数の記載誤り(1名) ④欠席日数の記載誤り(2名) ⑤欠席日数の記載誤り(1名) ⑥欠席日数の記載誤り(1名) ⑦欠席日数の記載誤り(3名) ⑧-1 欠席日数の記載誤り(1名) ⑧-2 所見欄の途中で文章が切れて 読めない(12名) ⑨-1 委員会名の記載誤り(1名) ⑨-2 所見欄の途中で文章が切れて 読めない(1名)	①～⑨ 通知表作成ソフトへの入力時の 転記ミスと確認ミス
報徳小 (13名)	①1年 20代・女 ②3年 50代・男 ③3年 40代・女 ④4年 30代・女 ⑤4年 30代・男 ⑥5年 40代・男 ⑦6年 50代・女	①欠席日数の記載誤り(1名) ②欠席日数の記載誤り(1名) ③欠席日数の記載誤り(3名) ④欠席日数の記載誤り(2名) ⑤欠席日数の記載誤り(1名) ⑥クラブ名の記載誤り(1名) ⑦欠席日数の記載誤り(4名)	①～⑦ 通知表作成ソフトへの入力時の 転記ミスと確認ミス

学校名 (該当児童生徒数 計)	当事者の年代	事故の状況 (該当児童生徒数)	原因
豊川小 (20名)	①1年 50代・女 ②1年 20代・女 ③2年 40代・男 ④4年 50代・女 ⑤4年 40代・女 ⑥4年 30代・男 ⑦5年 50代・女 ⑧5年 20代・男	①欠席日数の記載誤り(1名) ②欠席日数の記載誤り(1名) ③欠席日数の記載誤り(4名) ④欠席日数の記載誤り(1名) ⑤欠席日数の記載誤り(2名) ⑥欠席日数の記載誤り(1名) ⑦欠席日数の記載誤り(8名) ⑧欠席日数の記載誤り(2名)	①～⑧ 通知表作成ソフトへの入力時の 転記ミスと確認ミス
前羽小 (12名)  下中小 (37名)	①1年 30代・女 ②6年 40代・男  ①2年 40代・女 ②3年 30代・男 ③3年 20代・男 ④3年 30代・女 ⑤5年 40代・男	①欠席日数の記載誤り(1名) ②欠席日数の記載誤り(11名)  ①欠席日数の記載誤り(3名) ②出席日数の記載誤り(27名) ③欠席日数の記載誤り(3名) ④欠席日数の記載誤り(2名) ⑤欠席日数の記載誤り(2名)	①～② 通知表作成ソフトへの入力時の 転記ミスと確認ミス ①～⑤ 通知表作成ソフトへの入力時の 転記ミスと確認ミス
千代中 (2名)	①1年 40代・男 ②1年 50代・男	①評定の記載誤り(1名) …保護者の訴えにより発覚 ②欠席日数の記載誤り(1名) …保護者の訴えにより発覚	①評価資料の作成時に同じ名 字の生徒と間違えた ②通知表作成ソフトへの入力 時の転記ミスと確認ミス
泉中 (43名)	①1年 30代・男 ②2年 30代・女 ③2年 30代・女 ④3年 30代・男	①欠席日数の記載誤り(2名) ②特別活動欄の記載誤り(1名) ③遅刻・早退数の記載誤り(1名) ④出席日数の記載誤り(39名)	①～④ 通知表作成ソフトへの入力時の 転記ミスと確認ミス
城北中 (1名)	①1年 40代・男	①早退欄の記載誤り(1名) …保護者の訴えにより発覚	①出席簿への記入ミス
特別支援学級 (11名)	①30代・女 ②50代・男 ③50代・女 ④20代・女 ⑤60代・男 ⑥40代・女	①欠席日数の記載誤り(2名) ②他の児童の個人票を貼付(1名) …保護者の訴えにより発覚 ③クラブ名の未記入(1名) ④欠席日数の記載誤り(5名) ⑤欠席日数の記載誤り(1名) ⑥出席日数の記載誤り(1名)	①手書きによる転記ミス ②貼付ミスと最終確認のミス ③～⑧通知表作成ソフトへの 入力時の転記ミスと確認ミス

## (3) 合計

## ① 既公表分

		当事者数(教員)		事故件数 該当児童生徒数	
小学校	6校	小学校	7名	小学校	7件 105名
中学校	4校	中学校	12名	中学校	12件 74名
		計	19名	計	19件 179名

## ② 総点検分

		当事者数(教員)		事故件数 該当児童生徒数	
小学校	17校	小学校	92名	小学校	97件 263名
中学校	3校	中学校	7名	中学校	7件 46名
特別支援学級 小学校6学級		特別支援学級	6名	特別支援学級	6件 11名
		計	105名	計	110件 320名

## ③ 総合計

		当事者数(教員)		事故件数 該当児童生徒数	
小学校	23校 (18校)	小学校	99名	小学校	104件 368名
中学校	7校 (5校)	中学校	19名	中学校	19件 120名
特別支援学級 小学校6学級		特別支援学級	6名	特別支援学	6件 11名
※( )数字は 実質の学校数		計	124名	計	129件 499名

## &lt;事故の状況別該当児童・生徒数&gt;

	既公表分			総点検分			全合計
	小	中	計	小	中	計	
出欠席の誤記入	34	6	40	246	44	290	330名
特別活動等の誤記入	0	5	5	10	1	11	16名
氏名の表記のミス	1	0	1	3	0	3	4名
個人票の貼り付けに関するミス	0	0	0	2	0	2	2名
所見等の誤記入	1	51	52	13	0	13	65名
評価・評定のミス	28	12	40	0	1	1	41名
シートの立ち上げミス	41	0	41	0	0	0	41名
	105	74	179	274	46	320	499名



平成23年10月24日

各小・中学校教職員 各位

小田原市教育委員会

教育長 前田 輝男

通知表作成時の対応について

<教育長からのコメント>

昨年度・今年度と、2年続けて通知表の誤記入の事故が発生してしまいました。

同じ教職に携わる者として、このような事故が発生したことを残念に思うとともに、悔しく悲しい思いであります。

今回の件により、子どもたちや保護者、そして社会に対して、心の糸、信頼の糸が失墜することは避けられない事実であり、信頼と信用を取り戻すには、大変な時間を要するものと思います。

その回復に向けて、全教職員は、指導から評価に至る一連の教育課程の実施に、強い責任感と使命感を持ってあたるとともに、今後、このような事故が二度とあってはならないことを強く認識し、「自分には間違いがあるぞ」といった危機感を持って、目前の子どもたちの姿を思い浮かべながら、正確な通知表の作成、並びに、チェック体制の強化に努めてください。

小田原市教育長

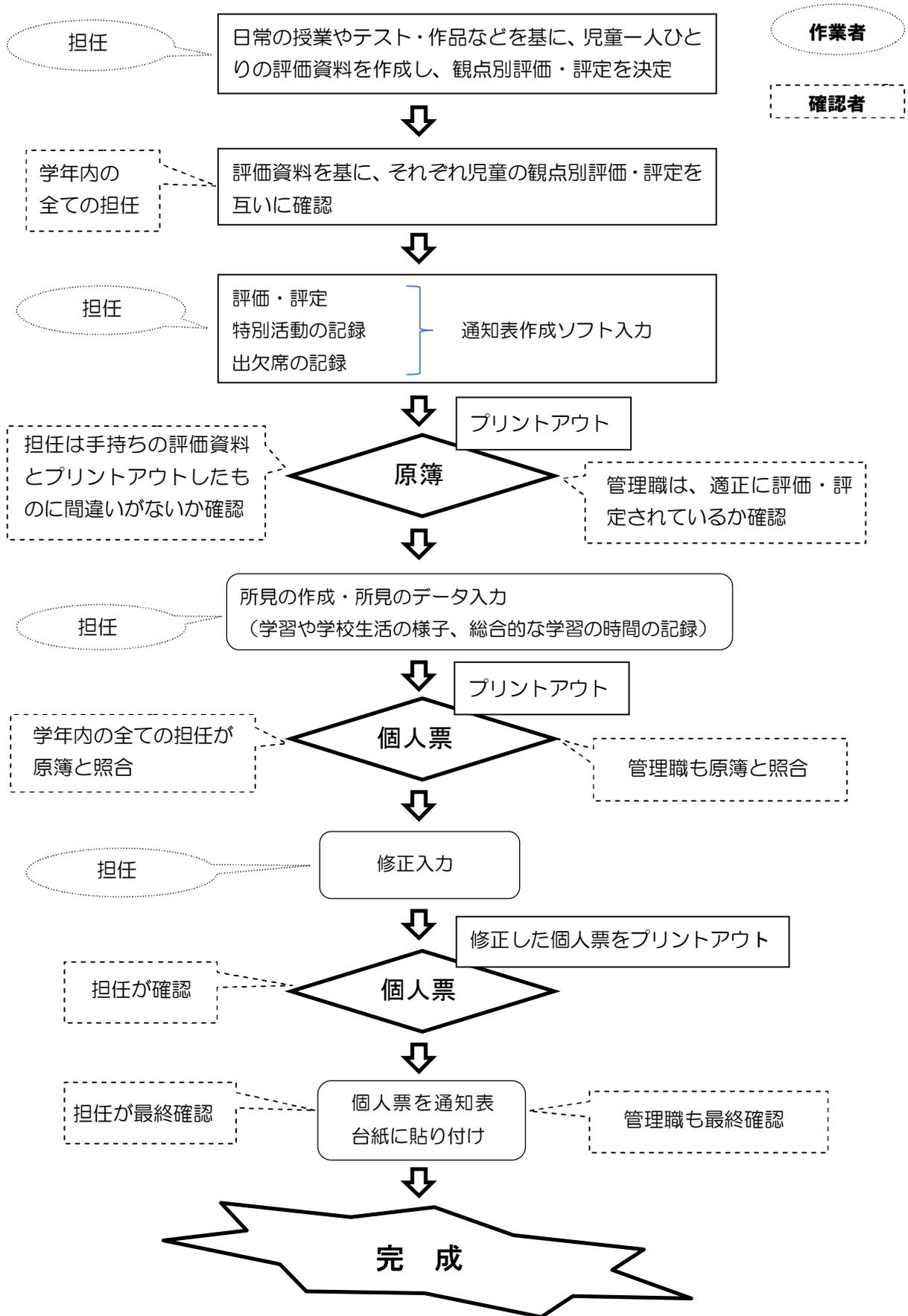
<通知表作成時のキーワード>

- ☆ 【使命感】 担任（担当）の管理する資料は、正確なものであること。
- ☆ 【責任感】 担任（担当）の管理する資料から原簿に転記するときは、慎重に行うこと。
- ☆ 【危機感】 完成版は、目前の子どもの姿を思い浮かべながら、複数で再確認すること。

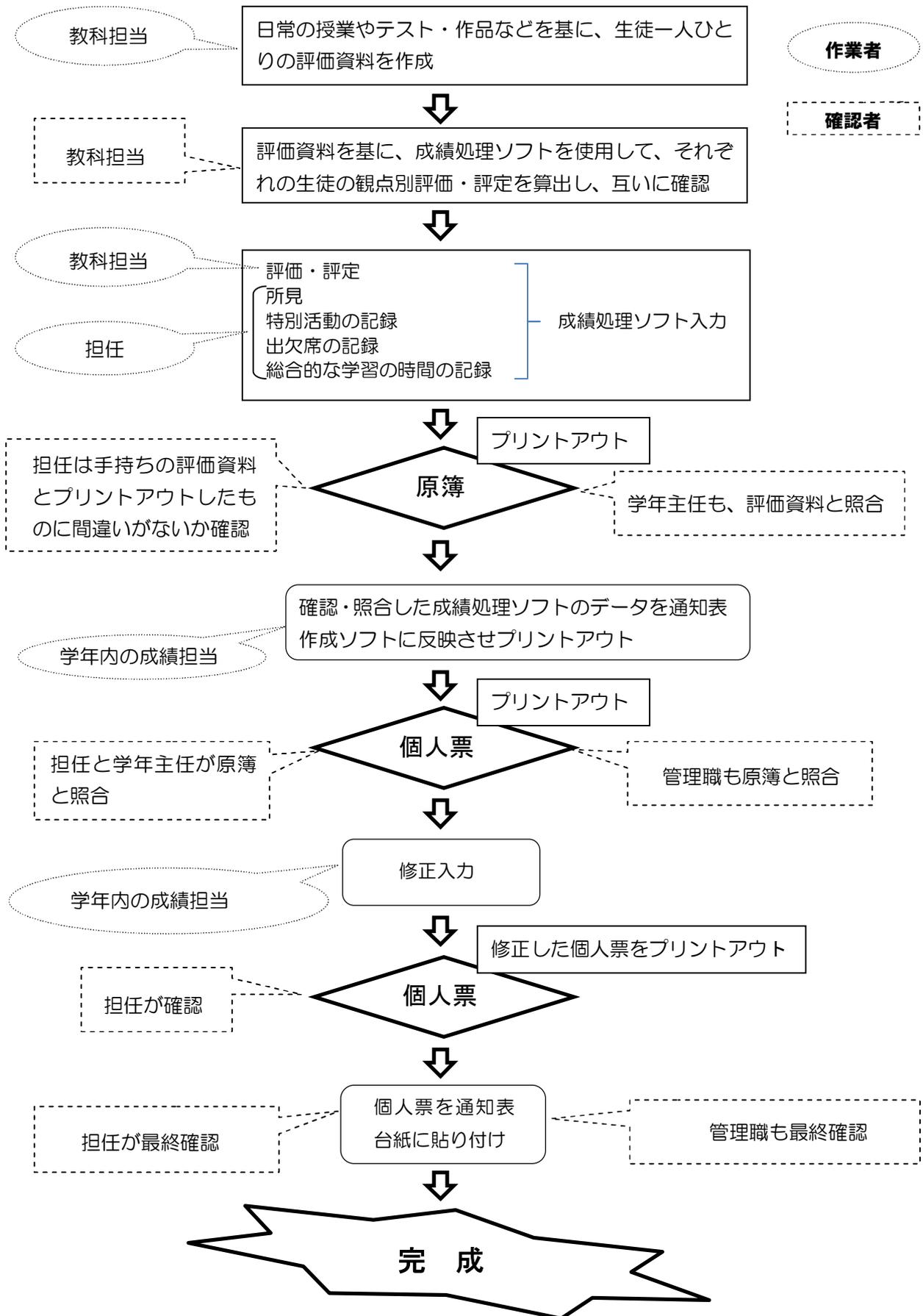
<今後の対応>

- 1 「通知表の誤記入ゼロ」に向けて、全校で、通知表の総点検をする。管理職と担任が、学校で保管されている前期の通知表を11月8日（火）までに点検し、市教育委員会に報告する。
- 2 通知表作成時の意識向上に向けて、教育委員会の指導主事が、今後1週間以内に全校を訪問し、教育長から全教職員宛の注意喚起文書（本書）を元に、直接教職員の指導にあたる。
- 3 通知表作成時のチェック体制の強化に向けて、教育委員会が、専門家を招いた通知表作成委員会（仮称）を立ち上げ、12月までに、チェック体制の再検討やチェックシートの作成を行い、その検討結果を各校に提示していく。
- 4 最適な通知表作成ソフトの導入に向けて、現在使用しているパソコン・ソフトでよいかどうかを検討するとともに、自動チェックができる機能のある市販パソコン・ソフトの導入を含めた検討をしていく。

# 通知表作成手順（小学校）



## 通知表作成手順（中学校）



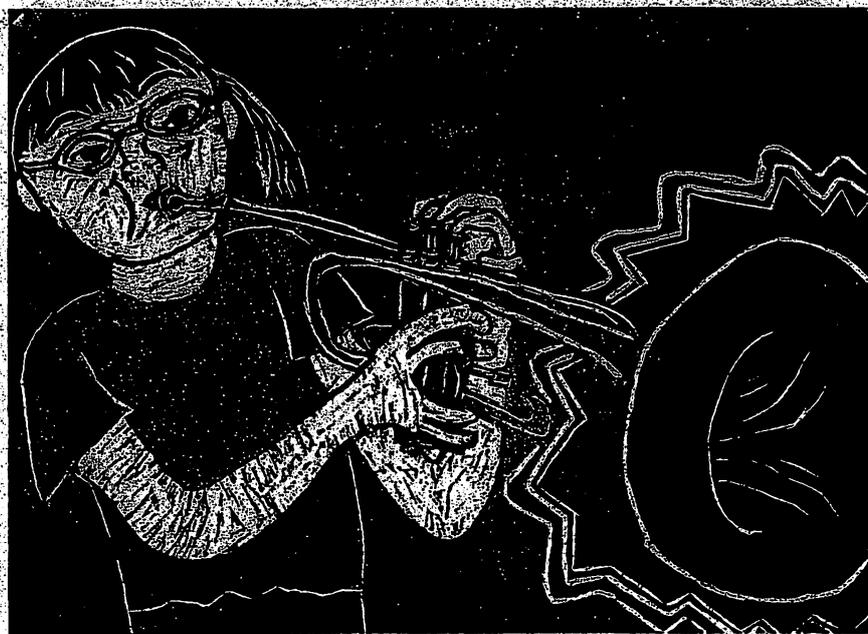
平成23年度

# のびゆく子

小田原市立 小学校

第 学年 組

児童氏名 \_\_\_\_\_



保護者の皆様へ

「のびゆく子」は、お子様のよりよい育ちを願って、学習や生活の様子をお知らせするものです。

子どもたちは、さまざまな活動を通して豊かに成長し、「生きる力」を身に付けていこうとしています。

お子様の姿をよく理解していただき、そのよさを認め、可能性を伸ばすための励ましの資料としてご活用ください。

前期

番号	1	氏名	
----	---	----	--

教科	学習の様子	◎……よ ○……概 △……も	く ね う	で で 少	き き し	た た し	観点別 評価
----	-------	----------------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-----------

国語	国語に関心を持ち、楽しく話し合ったり、書いたり、読書したりしようとする。						
	順序を考えてわかりやすく話したり、大事なことを聞きとったりしている。						
	順序がわかるように文や文章を書いている。						
	順序や場面の様子に気付きながら読んでいる。						
	音声、文字、語句、言葉遣いなどについて理解している。						

算数	数量や図形に親しみを持ち、様々な経験をもととする。						
	算数的活動を通して、数量や図形に親しみながら考え表現している。						
	整数の計算が確実にでき、ものの大きさを表したり、形を調べたり、つくったりしている。						
	数量や図形についての豊かな感覚を持ち、それらの意味や性質を理解している。						

生活	身近な人々、社会、自然に関心を持ち、進んでかかわり、学習しようとする。						
	調べたり、育てたり、つくったりするなどの活動や体験について、自分なりに考えたり工夫したりして表現している。						

音楽	楽しく音楽にかかわり、音や音楽に対する関心を持ち、進んで学習しようとする。						
	音楽を形づくっている要素が生み出すよさや面白さなどを感じ取り、自分の思いをもって音楽表現を工夫している。						
	音楽表現をするための基礎的な技能を身に付け、歌ったり、楽器を演奏したり、音楽をつくったりしている。						
	楽曲や演奏の楽しさに気付き、味わって聴いている。						

図工	楽しんでかいたり、つくったり、見たりしようとする。						
	自分らしい発想をもっている。						
	表したいことやつくりたいものを自分らしく表現している。						

体育	だれとでも仲よくし、健康や安全に気を付けて、楽しんで学習しようとする。						
	いろいろな運動やゲームの仕方を考え、工夫している。						
	いろいろな運動やゲームを楽しく行うために、必要な技能を身に付けている。						

特別活動の記録							
---------	--	--	--	--	--	--	--

10※特によいところに付けています。学校生活の様子	1-①安全に気を付けた生活をする。						
	1-②時間を守ったり、ものを大切にしたりする。						
	1-③気持ちのよいあいさつを行う。						
	2.心身の健康に気を付け、進んで運動をし、元気に生活する。						
	3.よいと思うことは進んで行い、最後までがんばる。						
	4.やらなければならないことをしっかりと行う。						
	5.進んで考え、工夫して取り組む。						
	6.身近にいる人々に温かい心で接し、親切にする。						
	7.自然に親しみ、生きているものに優しく接する。						
	8.手伝いや仕事を進んで行う。						

学校生活などの様子							
-----------	--	--	--	--	--	--	--

出欠の状況	区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
	授業日数		0	0	0	0	0	0	0
	出席停止・忌引等の日数		0	0	0	0	0	0	0
	欠席日数		0	0	0	0	0	0	0
	出席日数		0	0	0	0	0	0	0



# 修了証

小学校第 学年の課程を  
修了したことを証する

平成 年 月 日

小田原市立 小学校長

校長氏名	
担任氏名	

前期		後期	
担任印	保護者印	担任印	保護者印

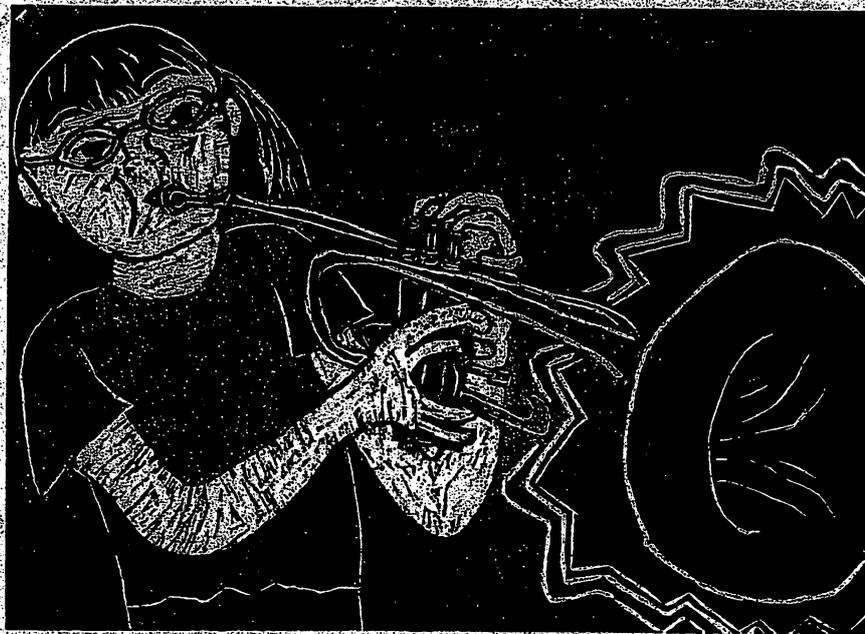
平成23年度

# のびゆく子

小田原市立 小学校

第 学年 組

児童氏名 \_\_\_\_\_



保護者の皆様へ

「のびゆく子」は、お子様のよりよい育ちを願って、学習や生活の様子をお知らせするものです。

子どもたちは、さまざまな活動を通して豊かに成長し、「生きる力」を身に付けていこうとしています。

お子様の姿をよく理解していただき、そのよさを認め、可能性を伸ばすための励ましの資料としてご活用ください。





# 修了証

小学校第 学年の課程を  
修了したことを証する

平成 年 月 日

小田原市立 小学校長

校長 氏名	
担任 氏名	

前期		後期	
担任印	保護者印	担任印	保護者印

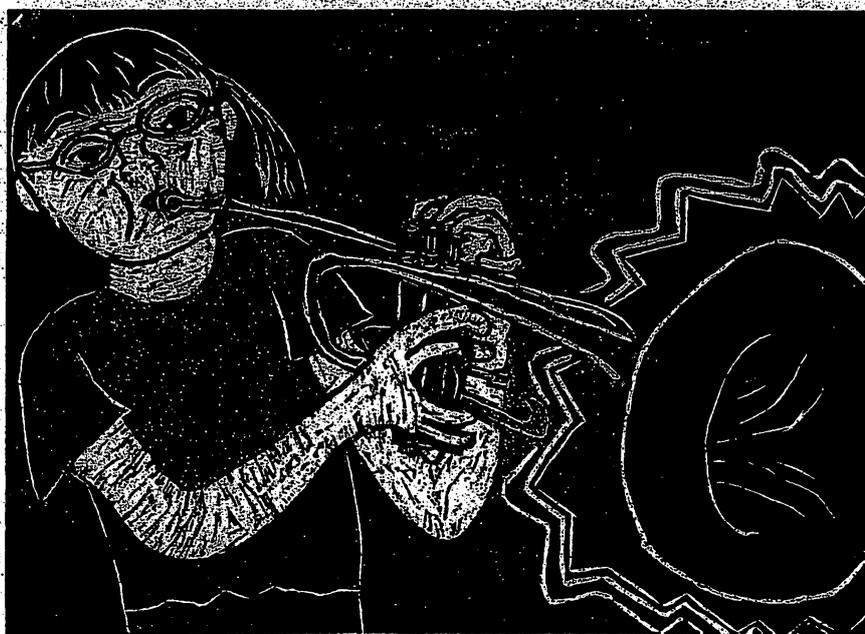
平成23年度

# のびゆく子

小田原市立 小学校

第 学年 組

児童氏名 \_\_\_\_\_



## 保護者の皆様へ

「のびゆく子」は、お子様のよりよい育ちを願って、学習や生活の様子をお知らせするものです。

子どもたちは、さまざまな活動を通して豊かに成長し、「生きる力」を身に付けていこうとしています。

お子様の姿をよく理解していただき、そのよさを認め、可能性を伸ばすための励ましの資料としてご活用ください。





# 修了証

小学校第 学年の課程を  
修了したことを証する

平成 年 月 日

小田原市立 小学校長

校長氏名	
担任氏名	

前期		後期	
担任印	保護者印	担任印	保護者印



平成 23 年度

通 知 票

小田原市立城北中学校

第 学年 組

番 氏名

---

前期 成績票

1	組	番	氏名
---	---	---	----

学 習 の 記 録			
必 修 教 科		選 択 教 科	
* 評価欄は5段階で示したものです。 * 観点欄のAは十分満足できると判断されるもの (特に高い程度は◎) Bはおおむね満足できると判断されるもの ◎は努力を要すると判断されるもの (一層努力を要するはC)を示しています。		* 評価欄は3 (ABC) 段階で示したものです。 * 観点欄・評価欄について Aは十分満足できると判断されるもの Bはおおむね満足できると判断されるもの Cは努力を要すると判断されるもの を示しています。	
教科	観 点	評 定	評 定
国 語	国語への関心・意欲・態度		
	話す・聞く能力		
	書く能力		
	読む能力		
	言語についての知識・理解・技能		
社 会	社会的事象への関心・意欲・態度		
	社会的な思考・判断		
	資料活用の技能・表現		
	社会的事象についての知識・理解		
数 学	数学への関心・意欲・態度		
	数学的な見方や考え方		
	数学的な表現・処理		
	数量・図形などについての知識・理解		
理 科	自然事象への関心・意欲・態度		
	科学的な思考		
	観察・実験の技能・表現		
	自然事象についての知識・理解		
音 楽	音楽への関心・意欲・態度		
	音楽的な感受や表現の工夫		
	表現の技能		
	鑑賞の能力		
美 術	美術への関心・意欲・態度		
	発想や構想の能力		
	創造的な技能		
	鑑賞の能力		
保 健 体 育	運動や健康・安全への関心・意欲・態度		
	運動や健康・安全についての思考・判断		
	運動の技能		
	運動や健康・安全についての知識・理解		
技 術 ・ 家 庭	生活や技術への関心・意欲・態度		
	生活を工夫し創造する能力		
	生活の技能		
	生活や技術についての知識・理解		
英 語	コミュニケーションへの関心・意欲・態度		
	表現の能力		
	理解の能力		
	言語や文化についての知識・理解		
国 語	国語への関心・意欲・態度		
	表現(話す・聞く・書く)の能力		
	読む能力		
	言語についての知識・理解・技能		
	社会的事象への関心・意欲・態度		
社 会	社会的な思考・判断		
	資料活用の技能・表現		
	社会的事象についての知識・理解		
数 学	数学への関心・意欲・態度		
	数学的な表現・処理		
	数量・図形などについての知識・理解		
理 科	自然事象への関心・意欲・態度		
	科学的な思考		
	観察・実験の技能・表現		
	自然事象についての知識・理解		
音 楽	音楽への関心・意欲・態度		
	音楽的な感受や表現の工夫		
	表現の技能		
美 術	美術への関心・意欲・態度		
	発想や構想の能力		
	創造的な技能		
保 体	運動や健康・安全への関心・意欲・態度		
	運動や健康・安全についての思考・判断		
	運動の技能		
技 家	生活や技術への関心・意欲・態度		
	生活の技能		
英 語	コミュニケーションへの関心・意欲・態度		
	表現の能力		
	理解の能力		
	言語や文化についての知識・理解		

# 《 前 期 通 知 票 》

1	組		番	氏 名	
---	---	--	---	-----	--

<b>特 別 活 動 の 記 録</b>	<b>総 合 的 な 学 習 の 時 間 の 記 録</b>

<b>学 校 生 活 の 様 子</b>	<b>出 席 の 記 録</b>																																												
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 5%;">月</th> <th style="width: 10%;">授業 日数</th> <th style="width: 10%;">出停 忌引</th> <th style="width: 10%;">欠席 日数</th> <th style="width: 10%;">出席 日数</th> <th style="width: 10%;">遅刻</th> <th style="width: 10%;">早退</th> <th style="width: 35%;">備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td rowspan="5"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">6</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">7</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">9</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	月	授業 日数	出停 忌引	欠席 日数	出席 日数	遅刻	早退	備 考	4								5							6							7							9						
月	授業 日数	出停 忌引	欠席 日数	出席 日数	遅刻	早退	備 考																																						
4																																													
5																																													
6																																													
7																																													
9																																													
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%; text-align: center;">担 任 氏 名</td> <td style="width: 15%; text-align: center;">印</td> <td style="width: 20%; text-align: center;">校 長 印</td> <td style="width: 35%; text-align: center;">保 護 者 印</td> </tr> <tr> <td style="height: 40px;"></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	担 任 氏 名	印	校 長 印	保 護 者 印																																								
担 任 氏 名	印	校 長 印	保 護 者 印																																										

# 修了証

中学校第3学年の課程を  
修了したことを証する

平成24年3月9日

神奈川県小田原市立城北中学校長

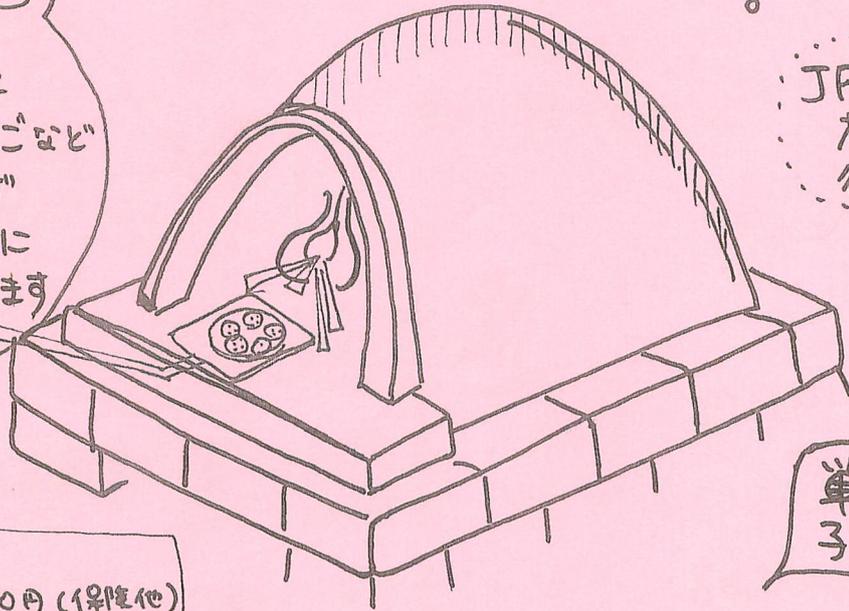
城 啓 二 印

# アースオーブン

小田原市根府川  
旧片浦中学校校庭

ピザやパン  
おいもやりんごなど  
何ともいえず  
優しい味に  
焼きあがります

JR 東海道線  
根府川駅  
徒歩10分



単発参加・見学もOK.  
子供さんも楽しんで作れます

## 参加費

- 1. 20目: 無料
- 3. 40目: 各500円 (保険他)

アースオーブンとは、土と砂だけで作るシンプルな釜  
太古の昔から、世界中のあちこちで作られてきました。  
土と砂を練って塗りつける作業は気持ちいい! × 楽しい!  
一度作り方を覚えれば、誰でもどこにでも作れます。  
一家に一台アースオーブン! この機会に体験してみませんか!

日時	内容
10目: 11月12日(土) 11時-16時	土台づくり
20目: 11月19日(土) 10時-16時	窯本体づくり
30目: 11月26日(土)	"
40目: 1月21日(土)	窯の装飾・仕上げ
お披露目 2月中旬	ピザパーティー!!

詳細は裏面へ!

## お問い合わせ

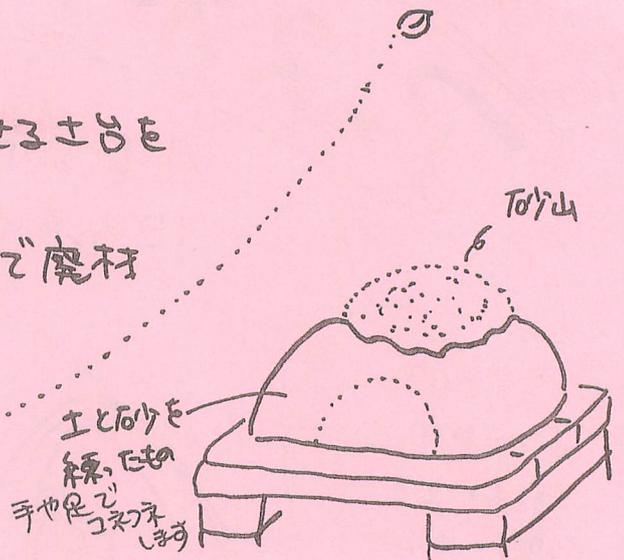
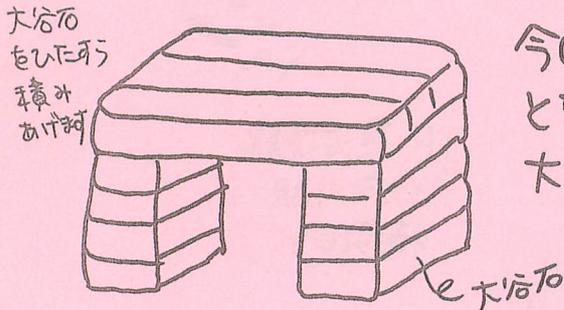
片浦「食とエネルギーの地産地消」プロジェクト  
tel: 080-4612-8420 (きやま)  
e-mail: katauta55sep@gmail.com  
web: <http://k-carpenters.blogspot.com/> (片浦日和)

《1日目》11月12日(土) 11時-16時

# 土台づくり

アースオーブンをのせる土台を作ります。

今回は3.11の震災で廃材となっていた大谷石を使います。



# 窯本体の製作

《2日目》11月19日(土)

《3日目》11月26日(土)  
10時-16時

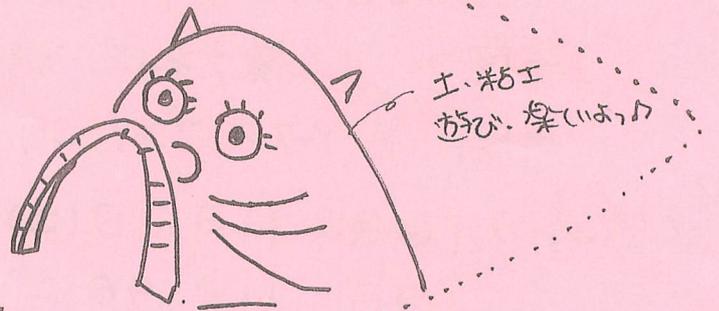
- 土台のまん中に直径60cm、高さ35cmの砂山をつくる ↓
- 土と砂を練り、砂山のまわりに厚さ15cm程で塗りつけていく。 ↓
- 窯の入り口をあける。

《4日目》

2012年1月21日(土)  
10時-16時

# 仕上げ・装飾

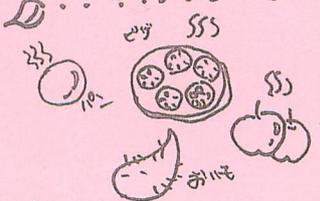
ドームのまわりに土を塗り、好みの形に成形したり、石や貝ガラを埋めたり... 装飾します。できあがったら、中の砂もとりだし火をたいて乾燥します。



《お披露目》  
2月中旬

# ピザパーティー

できあがったアースオーブンでピザやりんごも焼いて食べましょう!



(講師) 杉山 ちこユ (10マカルチャー・デザイナー)

つながりあった新しいコミュニティづくり

# 吉成信夫 講演会

2011年12月4日(日)

13:00 開場

13:30 開始～16:00 終了予定

定員: 300名

無料/事前申し込み制

小田原市役所7階大会議室

(小田原市荻窪300)

もったいない  
ありがたい  
おかげさま



お金をかけないからこそ心と心がつながる。「もったいない・ありがたい・おかげさま」を合言葉に身の丈サイズの自然エネルギーや循環型生活スタイルの提唱をしている「森と風のがっこう」。行政のできない発想を活かして、児童館や廃校になった分校を生きた施設に変えた吉成流改革。子どもたちに関わるすべての人必聴の講演。

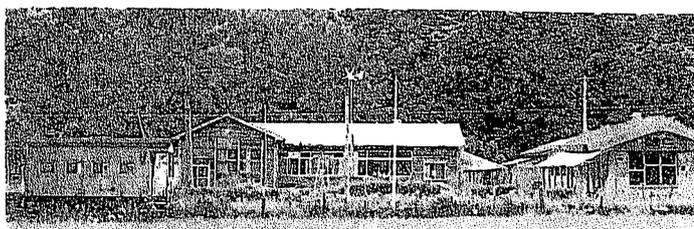
吉成信夫 (よしなりのぶお)

1956年東京生まれ。成蹊大卒。CIコンサルティング会社役員を経て、96年岩手県に家族で移住。石と賢治のミュージアム研究専門員として同館の開館に向け奔走。その後葛巻町の協力を得て、廃校を利用したエコスクール「森と風のがっこう」を01年に開校。知事からの要請を受け、03年、県立児童館いわて子どもの森初代館長に就任。10年3月退職。行政の枠におさまりきらない異色の運営で知られた。現在はNPO法人岩手子ども環境研究所(森と風のがっこう)理事長。

森と風のがっこう

標高700メートル、11世帯の集落にある廃校を再利用したエコスクール。自然エネルギーを取り入れた循環型の生活スタイルを、身の丈にあったサイズで、体験を通して楽しみながら学ぶ活動、施設づくりを進めています。コンポストトイレ、空き缶風呂、バイオガス装置、排水浄化装置、パーマカルチャーガーデン、環境共生建築のコミュニティカフェ。

子どもたちのための自然エネルギー体験キャンプ、子どもオープンデー、親子キャンプ、えほんの森などに加え、今年度は「子育て」と「循環」の森づくりと人材育成に取り組んでいます。



主催: 旧片浦中学校“食とエネルギーの地産地消プロジェクト”実行委員会

共催: 小田原市/小田原市教育委員会



多様な担い手による新しい協働の形

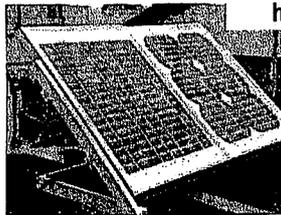
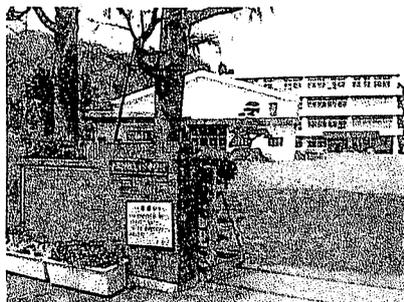
神奈川県新しい公共の場づくりモデル事業

## 旧片浦中学校 “食とエネルギーの地産地消” プロジェクト



旧片浦中学校（2010年廃校）を、行政と民との協働で「食とエネルギーの自給」についての学びと実践の場とします。地域住民と市民が自然エネルギー設備を製作、校内に設置、利活用。また耕作放棄地を再利用して体験農園を作るなど、片浦中学校から持続可能な暮らし・社会づくりの提案、発信をしていきます。

今回の震災は、人と地域のつながり、支え合いの大切さが再確認され、便利で快適ではあるけれど人とのつながりが失われてしまった社会そのものを考え直すこととなりました。この片浦中学校の再利用に向けて多様な担い手が協働することそのものが、様々な立場の人同士の共生の上に成りたち、新しい暮らし方、生き方のモデルとなることを目指します。



### 「今後の予定」

- 2012年 太陽光パネル製作ワークショップ
- 太陽熱温水器製作ワークショップ
- 自然浄化システムワークショップ
- 循環型農園づくりワークショップ
- その他、土日や連休、夏休みなど各種WS予定

### 「多様な担い手たち」

NPO法人子どもと生活文化協会/小田原市教育委員会  
小田原市環境部/小田原市経済部農政課/小田原ヒルトン  
(株)/早稲田大学後藤春彦研究室/ソーラーネット/パーマ  
カルチャー葉山/片浦地域の人たち

### 「連絡先」

小田原市城山 1-6-32 Sビル2階

NPO法人 子どもと生活文化協会内

片浦地産地消プロジェクト実行委員会

TEL 080-4613-8420 [kataura55sep@gmail.com](mailto:kataura55sep@gmail.com)

<http://k-carpenters.blogspot.com/>

参加ご希望の方はお名前、勤務先・所属、参加人数をご記入の上、Fax, E-Mail でお申し込みください。

お名前の前に 12/4 とご記入ください (例 12/4 片浦花子 環境の会 3名)

Fax 0465-35-8421 Mail [kataura55sep@gmail.com](mailto:kataura55sep@gmail.com)

11月30日締め切り・先着順となっております。

問い合わせは080-4612-8420 (きやま) まで

※応募者の個人情報は当講演会受付のみ使用いたします。※お早目のお申し込みをお勧めいたします。

12月4日(日)吉成信夫講演会参加申し込み

① お名前

② 勤務先・所属

③ 参加人数